

第25回 4月開催セミナー
サービスサイエンス研究センター

サービスサイエンスは、社会科学、自然科学等の幅広い研究分野を学際的に研究されるべき分野であり、データマイニングは、そのコアとなるアプローチの1つとなります。このような研究を包括的に実施するには、入手されるデータから効率的かつ効果的に結果をマイニングする研究のおよび実践的な連携が重要となるため、本研究センターを設立いたしました。また教育的観点から、平成20～22年度に旧経済学部で採択された文部科学省の質の高い大学推進プログラムである『販売現場に密着した問題発掘型スタディーズ』は、複数の教員で運営された実践的なデータマイニングに関する教育プログラムであり、現在、GP終了後も継続して教育プログラムを実践し、データマイニングを実践できる人材の排出に寄与しております。

第26回 5月開催セミナー
公衆栄養実践研究センター

公衆栄養実践研究センターは、平成23年10月、総合リハビリテーション学科の7人の専任教員に、客員研究員として5人の大阪府職員、5人の大阪府職員OBを加えて発足しました。企業や大学の力を借りながら、大阪府民の健康寿命を延ばすため、食育活動に代表される公衆栄養の実践活動を進めていくセンターです。毎年3000人の方が参加する「おおさか食育フェスタ」を例に紹介します。企業は、費用負担をしてフェスタを支えるとともに、ブースを出して自社の活動をアピールします。大学は、大阪府にある管理栄養士養成校がこぞって参加します。自大学のブースの他、舞台での出し物や、食育弁当コンテストの参加作品に、趣向を凝らします。学生は大企業の目に止まる機会、教員は受験生の目に止まる機会です。百貨店の会場費は集客で無料。税金をできるだけ使わず、いいものを、府民に。

第27回 6月開催セミナー
ものづくりイノベーション研究所

ものづくりイノベーション研究所は2013年7月にものづくり中小企業を支援することを目的に設立されました。本研究所は産業の基本となる「ものづくり」に必要な最先端基盤技術の研究とそれを生かした新しい「ものづくり」産業の振興を目指し、ものづくり中小企業の研究開発を支援します。また、経営と技術を統括できる人材は、これからのものづくり中小企業には取り分け必要とされるものであり、本研究所はこうした後継者人材育成にも取り組んでいます。大学教員が有する最先端研究シーズと高度専門知識を活用し、グローバルニッチトップを目指すものづくり中小企業を強力に支援する全国的にもユニークな研究支援組織です。教育研究機関である大学ならではのきめ細やかな支援により、ものづくり中小企業の研究・開発・試作等を推し進めます。

■会場 大阪府立大学 アイサイト I-siteなんば
■住所 大阪市浪速区敷津東2-1-4 1
南海なんば第1ビル 2F

(Zeppなんば大阪の東隣のビル北側の府大専用エントランスからお入りください)



- ・南海電鉄「なんば(南出口/なんばパークス方面)」駅下車
南へ約800m (徒歩約12分)
- ・地下鉄御堂筋線「なんば(5号出口)」駅下車
南へ約1000m (徒歩約15分)
- ・地下鉄御堂筋線・四つ橋線「大國町(1号出口)」駅下車
東へ約450m (徒歩約7分)
- ・地下鉄堺筋線「恵美須町(1-B出口)」駅下車
西へ約450m (徒歩約7分)
- ・南海電鉄高野線「今宮戎」駅下車
北へ約420m (徒歩約6分)

【予告：第28回 7月開催セミナー】
テーマ **マイクロフロー系反応デバイスによる物質製造：
21世紀のグリーン新技術**

日時 7月2日(木) 15:00～16:30
講師 マイクロリアクターシステム研究所 所長
理学系研究科 教授 柳日晷

講師紹介
1978年 大阪大学大学院工学研究科博士後期課程修了、工学博士。
その後、日本学術振興会奨励研究員、大阪大学工学部助手を経て、
1995年 大阪大学大学院工学研究科助教授。この間、1991年にカナダ・
オタワ大学化学科客員研究員(1年間)。2000年より大阪府立大学総合
科学部教授、2005年より現職、現在に至る。専門は有機合成化学に
おける新反応開発。受賞は1989年 有機合成化学奨励賞、2004年 日本
化学会学術賞、2005年 イギリス王室化学会フェロー、2014年 有機
合成化学協会賞など。近畿化学協会フロー・マイクロ合成研究会幹事
を務め、2008年よりマイクロリアクターシステム研究所の所長。環境
に優しいグリーンケミストリーの立場から、マイクロフロー技術に
よる化学反応と化学製造のコンパクト化に取り組んでいる。

大阪府立大学 21世紀科学研究機構
21世紀科学研究所連続セミナー

2015年
4月～6月



大阪府立大学の「21世紀科学研究所」は、教育・研究活動の一層の活性化を図ることを目的に、バーチャル研究所として平成18年2月1日に創設しました。以来、教員が学域(学部)・研究科の枠組みを越えた学際的あるいは分野横断型の先駆的で挑戦的な活動をし、現在では45の研究所を擁するまでに発展してきました。

当セミナーは、各研究所の研究成果をより多くの皆さまに向けて情報発信し、活動内容を知っていただくことを願うとともに、社会への貢献に資することを目的として開催しております。多岐にわたる21世紀科学研究所の研究内容の一端をご理解たまわれれば幸いです。

お申し込み方法

予約制(参加費無料) どなたでもお申し込みいただけます。
E-mailもしくはFAXで、
①氏名(ふりがな)・年齢
②郵便番号・住所
③電話番号
※FAXでお申し込みの方はFAX番号もご記入ください。
④参加ご希望の講座の開催月
をご記入の上、下記へお申込みください。

FAX 072-254-8154
E-mail 21c-headoffice@21c.osakafu-u.ac.jp

定員最大70名。
定員になり次第締め切らせていただきます。

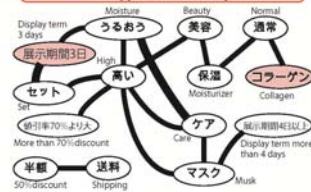
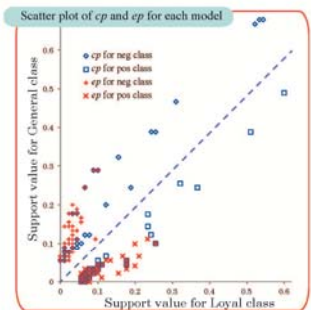
日時 2015年4月2日(木) 15:00~16:30
 受講料 無料
 講師 サービスサイエンス研究センター 所長
 現代システム科学域 知識情報システム学類 教授
 ビジネスマイニング研究センター有限責任事業組合 代表組合員
 森田 裕之
 申込締切 2015年3月27日(金)
 但し、定員になり次第締め切らせていただきます。

データの取得、保存、加工が容易かつ安価になるにつれ、社会の様々な分野で様々なデータマイニングが行われています。その中でも、企業におけるビジネス応用を考える際には、そもそも何を見つけるべきかという分析目的の設定から検討しなければならないため、すでに見つけるものが決まっているような分野のデータマイニングと比較すると、非常にハードルの高いことがよくあります。

本講座では、データマイニングのビジネス応用に関しての事例を取り上げながら、データマイニングの実践、重要性、そして今後の課題などについてお話しします。



<講師略歴>
 1997年神戸商科大学大学院経営学研究科経営情報科学専攻博士後期過程単位取得退学。博士(経営情報科学)。同年大阪府立大学経済学部経営学科経営科学講座講師。現在大阪府立大学現代システム科学域知識情報システム学類教授。経営情報システム、メタヒューリスティクス、データマイニングに関する研究に従事。経営情報学会、オペレーションズリサーチ学会、情報経営学会、AISなどの会員。



◇研究紹介◇
 近年、ビッグデータと呼ばれるさまざまなデータが活用できるようになり、いろいろな分野での活用が検討されています。その中で実際のビジネスで取得されたデータを活用しながら、消費者の心理を解明したり、そこからさまざまなプロモーションを考案したりするための応用研究を行っています。

日時 2015年5月7日(木) 15:00~16:30
 受講料 無料
 講師 公衆栄養実践研究センター 客員研究員
 大阪府立大学 客員教授 佐藤 真一
 申込締切 2015年4月24日(金)
 但し、定員になり次第締め切らせていただきます。

「食べたいものを我慢してまで長生きしたくない。」管理栄養士が食事指導をしていて感じる患者さんの本音です。お医者さんに「食事に気をつけないと寿命が縮みますよ」と言われ、「わかりました、頑張ります」と言っていたはずなのに。何とかして、身体に良くて、美味しい料理を、と提案します。でも、限られた時間、実物を使うことが難しい中で、どれだけ伝えられたか。いつももどかしい思いが残ります。身体に良くて美味しい料理を食べられる場所がたくさんあればいいのに。できれば、お求めやすい価格で。こういった思いを持ち寄って、外食のお店、テイクアウトのお店、コンビニ、給食のカフェテリアと、協力店を増やしています。「健康になる食べものは美味しい」を感じるための舌を育てる取り組みも。子供のころから。いえ、新しい命を授かったとわかったときから。

<講師略歴>
 1988年筑波大学大学院博士課程医学研究科卒業、医学博士。同年大阪府立成人病センター集団検診第一部。1991年から大阪府立公衆衛生研究所兼務。2001年から大阪府立健康科学センター。太田府政で、ローソンのコラボ企画に取り組む。2008年から千葉県衛生研究所。故、今木雅英初代センター長に協力し、2011年の設立から、唯一の医師として関わっている。



おおさか食育フェスタ

◇研究紹介◇
 「早食い」はメタボになりやすい、とわかりました。「早食い」は、噛まずに呑み込む、よりも、一口で食べる量が多く、次々と口に入れているためだとわかりました。提供する食卓の大きさやスプーンの大きさ、噛みしめて初めてわかる美味しさといった工夫で、無理なく早食いを是正できないか、試みを進めています。

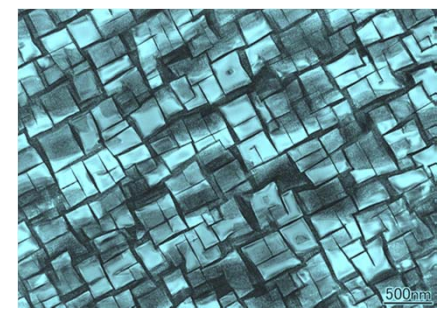
日時 2015年6月4日(木) 15:00~16:30
 受講料 無料
 講師 ものづくりイノベーション研究所 副研究所長
 21世紀科学研究機構・工学研究科 教授 金野 泰幸
 申込締切 2015年5月29日(金)
 但し、定員になり次第締め切らせていただきます。

大阪府内、特に東大阪地域と南大阪(堺・泉州)地域には「ものづくり」中小企業が多数存在しています。これら中小企業の活性化は、府内はもとより国全体の重要な課題との位置付けがなされています。以前より、大阪府立大学では教育、研究に加えて、地域貢献を大学の目標の一つとして掲げ、産学連携事業を積極的に推進してきましたが、昨今のグローバル化に伴う競争は激化する一方で、今後は中小企業においても世界で戦える研究・開発(R&D)型企業へと変貌しなければなりません。そのため、本学としても分野を横断した組織的な体制作り(ものづくりイノベーション研究所の設立)を行いました。当研究所は単なる学術研究集団ではなく、ものづくり中小企業における後継者人材育成と技術開発研究を同時に行うことで、各企業がグローバルニッチトップとなることを強力に支援します。本講座では、本研究所によるものづくり中小企業支援の取り組みを説明するとともに、産学連携成果についても紹介します。

<講師略歴>
 1989年大阪府立大学大学院工学研究科博士後期課程退学。同年大阪府立大学工学部助手。現在大阪府立大学21世紀科学研究機構・工学研究科マテリアル工学分野教授。博士(工学)。専門は金属工学で、主に非鉄金属材料の結晶塑性、材料強度、組織制御、合金設計に関する研究に従事。現在は、金属間化合物をベースにした耐熱構造用材料の研究開発を行っている。



◇研究紹介◇
 ものづくり中小企業には高度な技術を有している企業も少なくはありません。本研究所では各々の企業が有する技術や得意分野を基盤に、大学教員がもつ先端研究シーズや高度専門知識を活用して新技術・新製品の開発に取り組んでいます。さらに、こうした共同研究によって得られた成果を中小企業が事業化するための支援活動も行っています。



大阪府立大学で開発された世界初の2重複相金属間化合物合金(Ni基超々合金)の微細組織